



3
02-8-02

PNDF-01180

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re patent application of

Moriaki Shimabukuro

Serial No.: 09/987,407

Group Art Unit: 2152

Filing Date: November 14, 2001

Examiner: Unknown

For: VOICE BANNER ADVERTISEMENT SYSTEM AND VOICE BANNER
ADVERTISEMENT METHOD

Assistant Commissioner of Patents
Washington, D.C. 20231

RECEIVED
JAN 30 2002
Technology Center 2100

SUBMISSION OF PRIORITY DOCUMENT

Sir:

Submitted herewith is a certified copy of Japanese Application Number 2000-347901
filed on November 15, 2000, upon which application the claim for priority is based.

Respectfully submitted,

Sean M. McGinn

Registration No. 34,386

Date:

1/24/02
McGinn & Gibb, PLLC

Intellectual Property Law

8321 Old Courthouse Road, Suite 200

Vienna, Virginia 22182-3817

(703) 761-4100

Customer No. 21254

日本国特許庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出願年月日

Date of Application 2000年11月15日

出願番号

Application Number: 特願2000-347901

出願人

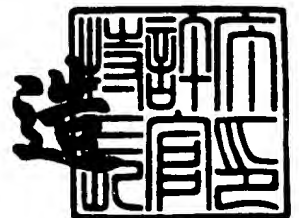
Applicant(s): 日本電気株式会社

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2001年 9月 5日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

及川耕造



出願番号 出証特2001-3082091

【書類名】 特許願

【整理番号】 53209446

【提出日】 平成12年11月15日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 H04M 11/00

【発明の名称】 音声バナー広告システム、及び音声バナー広告方法

【請求項の数】 7

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都港区芝五丁目7番1号 日本電気株式会社内

 【氏名】 島袋 盛秋

【特許出願人】

 【識別番号】 000004237

 【氏名又は名称】 日本電気株式会社

【代理人】

 【識別番号】 100108578

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 高橋 詔男

【代理人】

 【識別番号】 100064908

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 志賀 正武

【選任した代理人】

 【識別番号】 100101465

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 青山 正和

【選任した代理人】

 【識別番号】 100108453

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 村山 靖彦

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 008707

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9709418

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 音声バナー広告システム、及び音声バナー広告方法

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 音声によって広告を行う音声バナー広告システムであって、
前記音声バナー広告システムは、

(a) ユーザに提供するコンテンツデータと広告データとから Web ページデータを構成して送信する Web ページデータ送信手段と、

バナー広告を送信した回数を履歴情報として記録する履歴情報記録手段と
からなる Web サーバと、

(b) インターネットを介して前記 Web サーバとの間でデータ通信を行う通信手段と、

前記 Web サーバが提供する Web ページを閲覧する Web ページ閲覧手段と、

受信した Web ページデータからバナー広告データを抽出し音声合成により
音声に変換し発音する音声合成手段と

からなるユーザ端末と

を備えたことを特徴とする音声バナー広告システム。

【請求項 2】 前記ユーザ端末は、

前記音声合成手段を有効にするか否かを設定するとともに設定内容を Web サーバに対して送信する音声合成動作設定手段をさらに備え、

前記 Web サーバは、音声合成手段が有効である場合のみに広告データをユーザ端末に対して送信することを特徴とする請求項 1 に記載の音声バナー広告システム。

【請求項 3】 接続されたユーザ端末に対して音声によって広告を行う Web サーバであって、

前記 Web サーバは、

前記ユーザ端末において音声合成が有効か否かを示す動作設定情報を受信する動作設定情報受信手段と、

前記動作設定情報に基づいて、広告データを含む Web ページデータを構成し

て送信するW e b ページデータ送信手段と、

 バナー広告を送信した回数を履歴情報として記録する履歴情報記録手段と
 を備えたことを特徴とするW e b サーバ。

【請求項4】 受信した広告データを音声によって発声するユーザ端末であ
って、

 前記ユーザ端末は、

 インターネットを介してW e b サーバとの間でデータ通信を行う通信手段と、

 前記W e b サーバが提供するW e b ページデータを受信して、このW e b ペー
ジデータを閲覧するW e b ページ閲覧手段と、

 受信したW e b ページデータからバナー広告データを抽出し音声合成により音
声に変換し発音する音声合成手段と

 を備えたことを特徴とするユーザ端末。

【請求項5】 前記ユーザ端末は、

 前記音声合成手段を有効にするか否かを設定するとともに設定内容をW e b サ
ーバに対して送信する音声合成動作設定手段をさらに備えたことを特徴とする請
求項4に記載のユーザ端末。

【請求項6】 音声によって広告を行う音声バナー広告方法であって、

 前記音声バナー広告方法は、

 ユーザに対して提供するコンテンツデータと広告データとからW e b ページデ
ータを構成して送信するW e b ページデータ送信過程と、

 バナー広告を送信した回数を履歴情報として記録する履歴情報記録過程と、

 受信したW e b ページデータからバナー広告データを抽出し音声合成により音
声に変換し発音する音声合成過程と

 を有することを特徴とする音声バナー広告方法。

【請求項7】 前記音声バナー広告方法は、

 前記音声合成によって広告データを音声によって発音するか否かを設定する動
作設定過程をさらに有し、

 音声合成動作が有効である場合のみに広告データ含むW e b ページデータを送
信することを特徴とする請求項6に記載の音声バナー広告方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、情報表示面積の小さい携帯端末ユーザに対して、Web ページアクセス中に音声による広告を行う音声バナー広告システム及び音声バナー広告方法に関する。

【0002】

【従来の技術及び発明が解決しようとする課題】

従来インターネットを用いてWeb ページを表示するユーザの多くは必要十分な表示領域を持った大型の表示装置を有する端末を使用していた。図7に示すように、大型の表示装置を有する端末では、表示領域20はユーザの希望するコンテンツデータを表示するコンテンツデータ表示領域21とバナー広告表示領域22とから構成されているのが一般的である。バナー広告表示領域22が必要とする表示領域はコンテンツデータ表示領域21に比較して小いため、十分な情報をユーザに提供すると同時にバナー広告を表示することが可能である。

【0003】

近年、携帯電話等の携帯端末からインターネット接続が可能となり、デスクトップ型のパソコン以上の普及率となることが予想され携帯端末に対する広告システムが要求されている。

【0004】

しかしながら、携帯電話等の端末に備えられた表示装置は、小型であるためにユーザの要求する情報のみを表示する場合であっても、その表示領域が不足することが往々にしてあり、さらにバナー広告を表示することは、本来表示すべき情報量を大きく減少せしめその結果情報の価値を減少せしめる為、ユーザにとって価値ある情報に付帯することによって得られる広告効果を期待するバナー広告本来の効果をも損なうという問題がある。また、バナー広告を表示するのに限られた表示領域では不足するという問題もある。

【0005】

本発明は、このような事情に鑑みてなされたもので、情報表示面積の小さい携

帯端末ユーザに対して、Web ページアクセス中に音声による広告を行う音声バナー広告システム、及び音声バナー広告方法を提供することを目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】

請求項1に記載の発明は、音声によって広告を行う音声バナー広告システムであって、前記音声バナー広告システムは、(a) ユーザに提供するコンテンツデータと広告データとからWeb ページデータを構成して送信するWeb ページデータ送信手段と、バナー広告を送信した回数を履歴情報として記録する履歴情報記録手段とからなるWeb サーバと、(b) インターネットを介して前記Web サーバとの間でデータ通信を行う通信手段と、前記Web サーバが提供するWeb ページを閲覧するWeb ページ閲覧手段と、受信したWeb ページデータからバナー広告データを抽出し音声合成により音声に変換し発音する音声合成手段とからなるユーザ端末とを備えたことを特徴とする。

【0007】

請求項2に記載の発明は、前記ユーザ端末は、前記音声合成手段を有効にするか否かを設定するとともに設定内容をWeb サーバに対して送信する音声合成動作設定手段をさらに備え、前記Web サーバは、音声合成手段が有効である場合のみに広告データをユーザ端末に対して送信することを特徴とする。

【0008】

請求項3に記載の発明は、接続されたユーザ端末に対して音声によって広告を行うWeb サーバであって、前記Web サーバは、前記ユーザ端末において音声合成が有効か否かを示す動作設定情報を受信する動作設定情報受信手段と、前記動作設定情報に基づいて、広告データを含むWeb ページデータを構成して送信するWeb ページデータ送信手段と、バナー広告を送信した回数を履歴情報として記録する履歴情報記録手段とを備えたことを特徴とする。

【0009】

請求項4に記載の発明は、受信した広告データを音声によって発声するユーザ端末であって、前記ユーザ端末は、インターネットを介してWeb サーバとの間でデータ通信を行う通信手段と、前記Web サーバが提供するWeb ページデー

タを受信して、このWebページデータを閲覧するWebページ閲覧手段と、受信したWebページデータからバナー広告データを抽出し音声合成により音声に変換し発音する音声合成手段とを備えたことを特徴とする。

【0010】

請求項5に記載の発明は、前記ユーザ端末は、前記音声合成手段を有効にするか否かを設定するとともに設定内容をWebサーバに対して送信する音声合成動作設定手段をさらに備えたことを特徴とする。

【0011】

請求項6に記載の発明は、音声によって広告を行う音声バナー広告方法であって、前記音声バナー広告方法は、ユーザに対して提供するコンテンツデータと広告データとからWebページデータを構成して送信するWebページデータ送信過程と、バナー広告を送信した回数を履歴情報として記録する履歴情報記録過程と、受信したWebページデータからバナー広告データを抽出し音声合成により音声に変換し発音する音声合成過程とを有することを特徴とする。

【0012】

請求項7に記載の発明は、前記音声バナー広告方法は、前記音声合成によって広告データを音声によって発音するか否かを設定する動作設定過程をさらに有し、音声合成動作が有効である場合のみに広告データ含むWebページデータを送信することを特徴とする。

【0013】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の一実施形態による音声バナー広告システムを図面を参照して説明する。

図1は同実施形態の構成を示すブロック図である。この図において、符号11は、Webページ閲覧機能と、バナー広告データを抽出し音声合成により音声に変換し発音する音声合成機能を備えた携帯電話等の無線携帯端末から構成されるユーザ端末である。このユーザ端末11は無線網によりインターネットを介して、Webサーバ等に対してアクセス可能である。符号12は、インターネット等のネットワークである。符号13は、情報提供者である。符号14は、ユーザに

提供する様々なコンテンツデータと、広告データとによりWebページデータを構成しユーザ端末11に送信する機能と、ユーザ端末11に送信したバナー広告の履歴情報を記録する機能とを備えたWebサーバである。ここでいうコンテンツデータとは、ユーザにとって価値の有るものとして情報提供者によりWebサーバ14に保存されている情報である。符号15は、広告主である。

【0014】

広告主15は、情報提供者13に対して、広告の依頼を行い、これを受けて情報提供者13は、ユーザに提供するコンテンツをWebサーバ14に登録するとともに、広告主15から依頼されたは広告のバナー広告データをWebサーバ14に登録する。そして、情報提供者13は、ユーザ端末11に対して広告を行った回数に応じて、広告主15に対して広告料金を請求する。

【0015】

次に図2を参照して、図1に示す音声バナー広告システムの動作を説明する。図2は、ユーザ端末11及びWebサーバ14の動作を示すシーケンス図である。まず、ユーザは、ユーザ端末11を利用しネットワーク12を介してWebサーバ14に接続する（ステップS1）。接続後、閲覧を希望するWebページのURL情報をWebサーバ14に対して送信する（ステップS2）。

【0016】

次に、Webサーバ14は、URL情報を受け取ると指定されたコンテンツデータとバナー広告データよりWebページデータを構成する（ステップS3）。続いて、Webサーバ14は、構成したWebページデータをユーザ端末11に送信する（ステップS4）。送信完了後、Webサーバ14は、バナー広告の履歴情報を記録する（ステップS5）。図4にコンテンツデータの一例を示す。また図5に、広告データの一例を示す。図6は、ステップS3において構成したWebページデータの一例であり、バナー広告データ（「広告です今日はパソコンがやすいよ」）が音声合成タグ（VOICEタグ）として組み込まれている。

【0017】

次に、ユーザ端末11は、Webサーバ14から送信されたWebページデータを受信し、一時的にユーザ端末11内に蓄えられる。そして、ユーザ端末11

は一時的に蓄えたWebページデータからバナー広告データを抽出する（ステップS6）。続いて、ユーザ端末11は、バナー広告を除いたWebページデータを表示装置へ表示する（ステップS7）。このとき、Webページデータ内にバナー広告データが含まれていた場合、ユーザ端末11は、バナー広告データを音声のデータに変換し、音声合成によって発音する（ステップS8）。これによって、バナー広告データ（ここでは、「広告です今日はパソコンがやすいよ」が発声されるデータとなる）が読み上げられる。

【0018】

このように、バナー広告を音声によって読み上げるようにしたため、表示領域が不足するという問題を解決することができる。

【0019】

次に、他の実施形態について図面を参照して説明する。

この実施形態は、Webサーバ14に接続後、URL情報を送信する前にユーザ端末11の音声合成機能の動作設定情報を送信する点が前述した実施形態と異なる。動作設定情報としては、ユーザ端末11の音声合成機能が有効に機能する設定になっているかどうかの情報である。したがって、ユーザ端末11は音声合成機能の有効／無効をユーザが選択する機能を有している。

【0020】

次に、図3を参照して、他の実施形態におけるユーザ端末11及びWebサーバ14の動作を説明する。図3は、他の実施形態におけるユーザ端末11及びWebサーバ14の動作を示すシーケンス図である。

【0021】

まず、ユーザは、ユーザ端末11を利用しネットワーク12を介してWebサーバ14に接続する（ステップS11）。次に、ユーザ端末11はWebサーバ14に接続後、音声合成機能の設定情報をWebサーバ14に送信する（ステップS12）。この設定情報は、Webサーバ14内に一時的に保存される。続いて、ユーザ端末11は、閲覧を希望するWebページのURL情報をWebサーバ14に送信する（ステップS13）。

【0022】

次に、Webサーバ14は、URL情報を受け取ると指定されたコンテンツデータとバナー広告データよりWebページデータを構成する（ステップS14）。このとき、Webサーバ14は、ユーザ端末11の音声合成機能が有効である場合はコンテンツデータとバナー広告データよりWebページデータを構成し、音声設定機能が無効である場合は、図4に示すようにバナー広告データ含まずコンテンツ情報のみからWebページデータを構成する。

【0023】

続いて、Webサーバ14は、構成したWebページデータをユーザ端末11に送信する（ステップS15）。送信完了後、Webサーバ14は、バナー広告の履歴情報を記録する。ただし、ユーザ端末11の音声合成機能が有効である場合バナー広告の履歴情報を記録するが、無効である場合は記録動作を行わない（ステップS16）。図4に、バナー広告を含まないコンテンツデータの一例を示す。また図5に、広告データの一例を示す。図6は、ステップS14において構成したバナー広告を含むWebページデータの一例であり、バナー広告データ（「広告です今日はパソコンがやすいよ」）が音声合成タグ（VOICEタグ）として組み込まれている。

【0024】

次に、ユーザ端末11は、Webサーバ14から送信されたWebページデータを受信し、一時的にユーザ端末11内に蓄えられる。そして、ユーザ端末11は一時的に蓄えたWebページデータからバナー広告データを抽出する（ステップS17）。続いて、ユーザ端末11は、バナー広告を除いたWebページデータを表示装置へ表示する（ステップS18）。このとき、Webページデータ内にバナー広告データが含まれていた場合、ユーザ端末11は、バナー広告データを音声のデータに変換し、音声合成によって発音する（ステップS19）。これによって、バナー広告データ（ここでは、「広告です今日はパソコンがやすいよ」が発声されるデータとなる）が読み上げられる。

【0025】

このように、映画館等の音声を発生することが問題となるような利用環境においては、ユーザはユーザ端末11の音声合成機能を無効にするユーザはバナー広

告を聞かないようにすることができる。また、音声合成機能の有効／無効を判断して、判断結果に基づいて履歴情報を記録するようにしたため、広告主に対して余分なバナー広告料金の請求を避けることができる。

【0026】

【発明の効果】

以上説明したように、この発明によれば、広告をテキスト、および画像で表示する代わりに音声を用いることにより、バナー広告を表示しないか、もしくはバナー広告の表示を最小限度にすることができるため、端末が有する表示領域にユーザの希望するコンテンツ情報を最大限に表示することができるという効果が得られる。

【0027】

また、バナー広告データをテキストデータでユーザ端末に送信し、ユーザ端末で音声合成することによりバナー広告の追加による通信データ量の増加を最小限にすることを可能とし、それにより通信コストを低減せしめ、ユーザのバナー広告に対する抵抗感を押さえることができるという効果も得られる。

さらに、音声合成により広告を読み上げることにより、音声の到達範囲に対する人物に対する副次的な広告効果が期待できるという効果も得られる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の一実施形態の構成を示すブロック図である。

【図2】 同実施形態の動作を示すシーケンス図である。

【図3】 他の実施形態の動作を示すシーケンス図である。

【図4】 コンテンツデータの一例を示す説明図である。

【図5】 広告データの一例を示す説明図である。

【図6】 We ページデータの一例を示す説明図である。

【図7】 従来技術による端末の表示領域を示す説明図である。

【符号の説明】

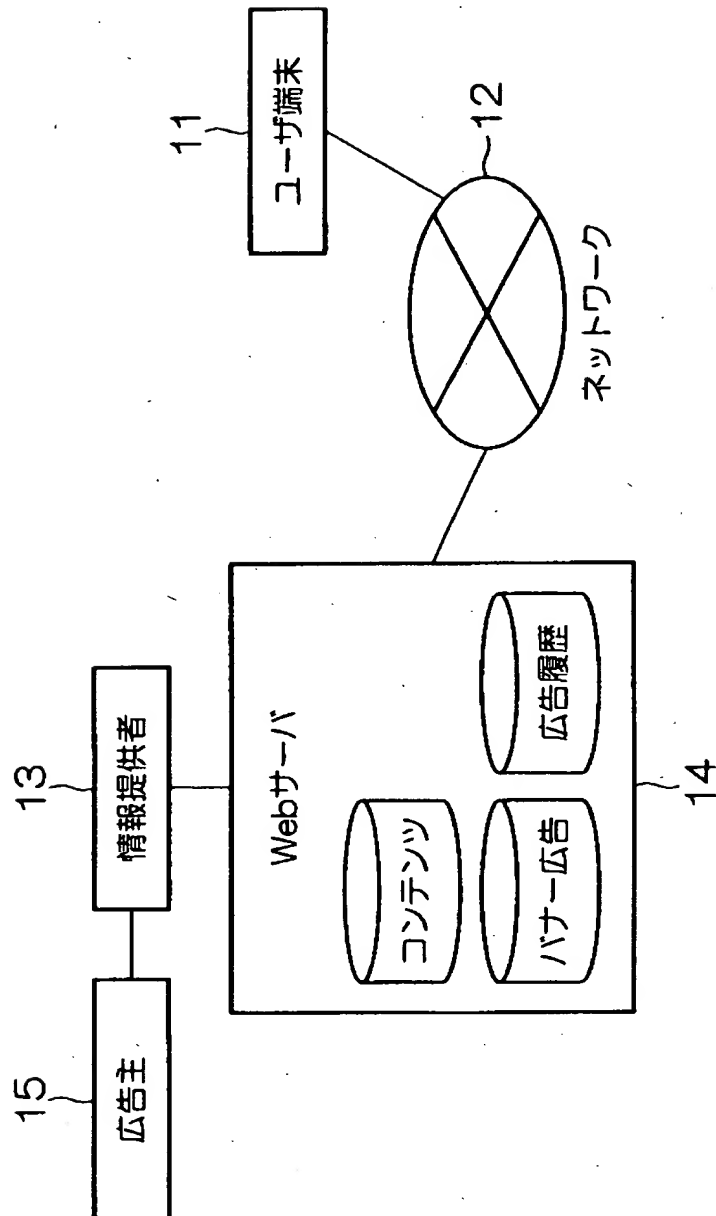
- 1 1 . . . ユーザ端末、
- 1 2 . . . ネットワーク、
- 1 3 . . . 情報提供者、

14・・・Webサーバ、

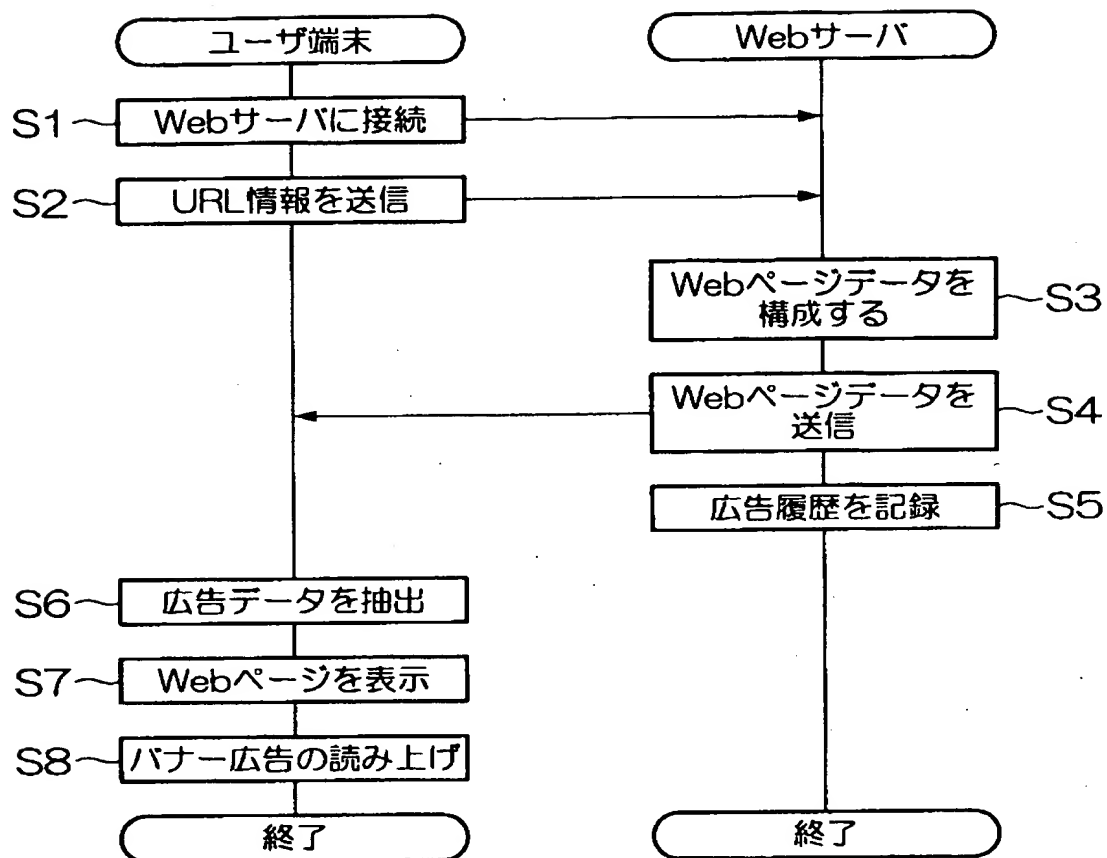
15・・・広告主。

【書類名】 図面

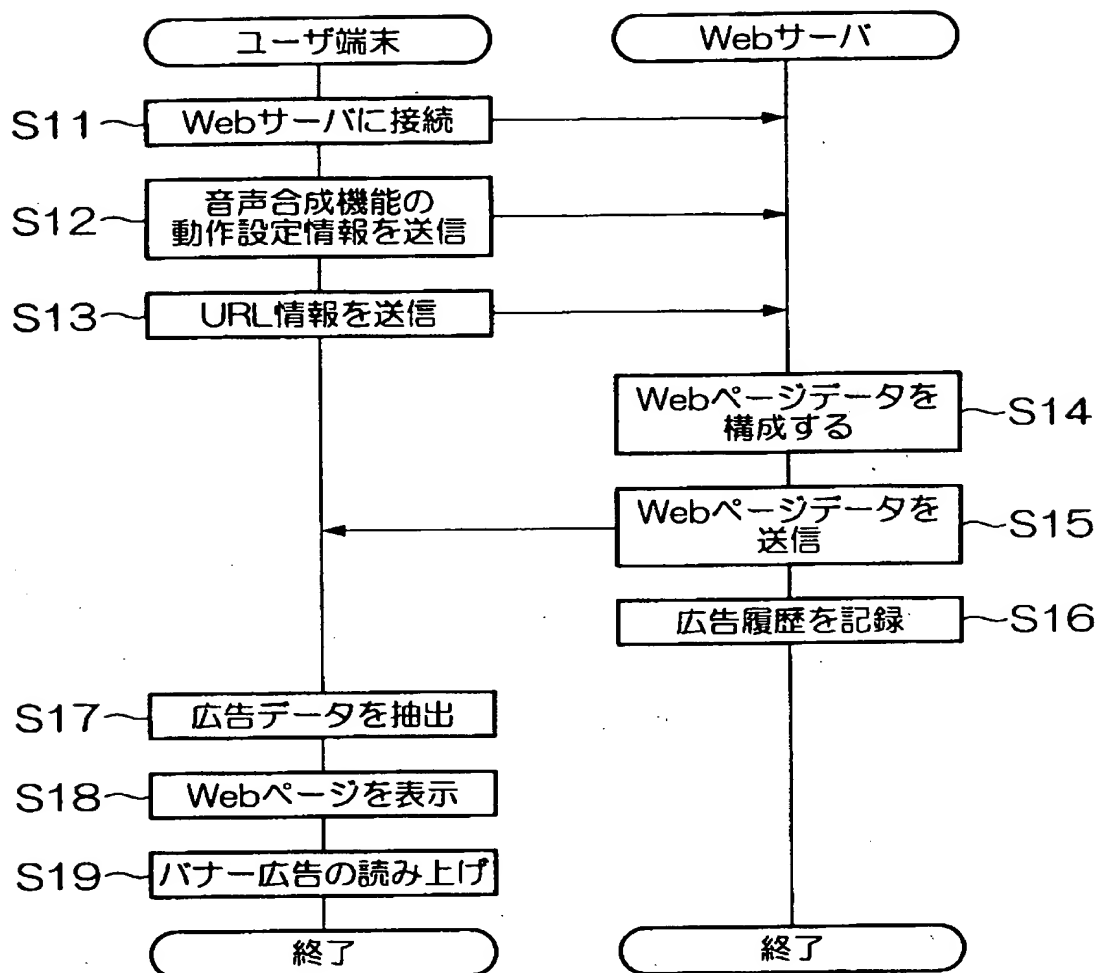
【図 1】



【図2】



【図3】



【図 4】

```
<HTML>
<HEAD><TITLE>ようこそ</TITLE></HEAD>

<BODY>

  OOOのホームページです。<BR>
  <BR>
  . . . <BR>
  . . . <BR>
  . . . <BR>
  <BR>
</BODY>
</HTML>
```

【図 5】

広告です 今日はパソコンがやすいよ

【図 6】

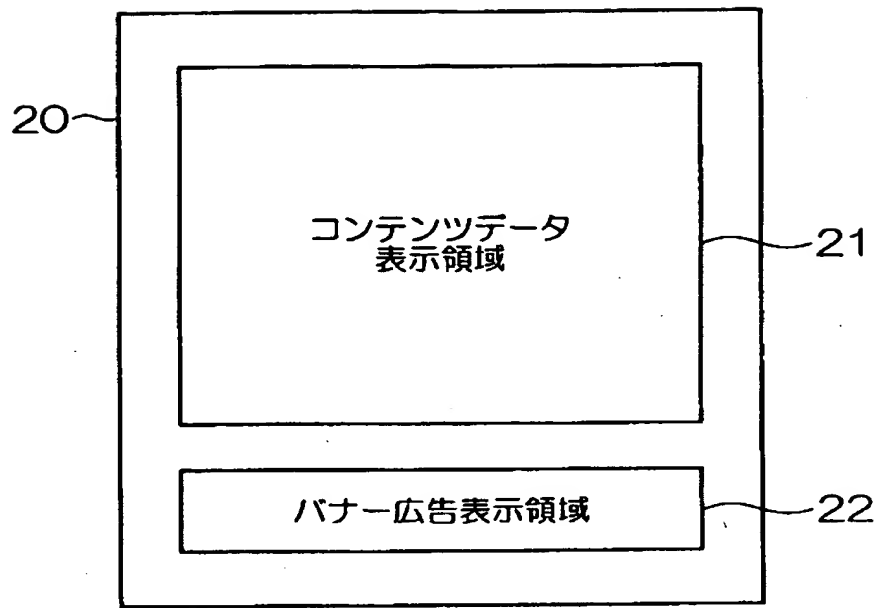
```
<HTML>
<HEAD><TITLE>ようこそ</TITLE></HEAD>

<BODY>

  <VOICE>広告です 今日はパソコンがやすいよ</VOICE><BR>

  OOOのホームページです。<BR>
  <BR>
  . . . <BR>
  . . . <BR>
  . . . <BR>
  <BR>
</BODY>
</HTML>
```

【図 7】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 情報表示面積の小さい携帯端末ユーザに対して、Web ページアクセス中に音声による広告を行う音声バナー広告システムを提供する。

【解決手段】 ユーザはユーザ端末 11 を用いて、閲覧を希望する Web ページの指定情報をネットワーク 12 を介して Web サーバ 14 に送信する。Web サーバ 14 は、広告主 15 の広告データとコンテンツデータより Web ページデータを構成しユーザ端末 11 に送信し、バナー広告の履歴情報を記録する。Web ページデータを受け取ったユーザ端末 11 は Web ページデータからバナー広告データを抽出し、Web ページを表示すると同時に音声合成によりバナー広告を読み上げる。Web サーバ 14 を運営する情報提供者 13 は、バナー広告の履歴情報を元に広告主 15 に対して広告料金を請求する。

【選択図】 図 1

認定・付加情報

特許出願の番号	特願 2000-347901
受付番号	50001473583
書類名	特許願
担当官	高田 良彦 2319
作成日	平成 12 年 11 月 21 日

<認定情報・付加情報>

【特許出願人】

【識別番号】	000004237
【住所又は居所】	東京都港区芝五丁目 7 番 1 号
【氏名又は名称】	日本電気株式会社

【代理人】

申請人

【識別番号】	100108578
【住所又は居所】	東京都新宿区高田馬場 3 丁目 23 番 3 号 ORビ ル 志賀国際特許事務所
【氏名又は名称】	高橋 詔男

【代理人】

【識別番号】	100064908
【住所又は居所】	東京都新宿区高田馬場 3 丁目 23 番 3 号 ORビ ル 志賀国際特許事務所
【氏名又は名称】	志賀 正武

【選任した代理人】

【識別番号】	100101465
【住所又は居所】	東京都新宿区高田馬場 3 丁目 23 番 3 号 ORビ ル 志賀国際特許事務所
【氏名又は名称】	青山 正和

【選任した代理人】

【識別番号】	100108453
【住所又は居所】	東京都新宿区高田馬場 3 丁目 23 番 3 号 ORビ ル 志賀国際特許事務所
【氏名又は名称】	村山 靖彦

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000004237]

1. 変更年月日	1990年 8月29日
[変更理由]	新規登録
住 所	東京都港区芝五丁目7番1号
氏 名	日本電気株式会社